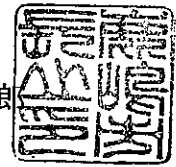


鹿道整第 823 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

鹿嶋市長 内 田 俊 郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

貴職におかれましては、日頃から鹿嶋市行政にご指導、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、依頼のありました今後の道路行政についての意見・提案を別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①
茨城県鹿嶋市

1. 幹線道路の整備

・広域的アクセスの向上を図るため、高速道路・国道・県道・幹線市町村道の幹線道路の整備促進を進める。

2. 生活道路の整備

・地域生活の利便性の向上を図り、併せて緊急車両等の通行幅員を確保するため、生活道路の整備を重点的に進める。

3. 道路特定財源の配分

・各自治体により道路特定財源となる各種税を納入する額に相違がある、納入額に応じた予算配分を各自治体に加味してほしい。

4. 新しい補助制度の創設

・各自治体によって道路行政上の課題に違いがあることから、一定の条件を満たせば自治体の裁量で予算執行ができる補助制度の創設・導入をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

茨城県鹿嶋市

○現状

1. 物流道路の整備

・首都東京へ1時間余りで連絡可能な鹿島港は鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の海上輸送基地として重要な役割を担っている、近年企業の事業再編・効率化や物流体系の見直しなどの流から、これまで東京一帯で扱われてきた一般公共貨物がシフト先としても機能している。このように首都圏の新しい物流拠点として注目されつつある鹿島港は、南公共埠頭に加えて、平成16年(2004年)には北公共埠頭も開始され、さらには平成22年度頃には外港公共埠頭も一部供用開始が予定されており、工業港という性格に加え、商業港としての機能も充実しつつある。

3. 維持補修費の確保

・鹿嶋市が管理する道路は舗装率が約60%であり、その殆どが耐用年数を超えている状態である、これらの道路の補修については財政的な問題もあり陥没箇所への合材充填が対応の中心となっており、短期的な対応にとどまっているほか、別の箇所の陥没にも同様な対応を繰り返すことになるなど、効果的・効率的な対応が困難になっている、また未舗装区間についても同一箇所でも不陸整正を繰り返している状況である。

3. 通学路の整備

・鹿嶋市においては約27万mの道路が通学路として指定されているが、歩道が設置されているのは、そのうちの約13%程度の3万6千mにとどまっている、また狹隘道路も多く自動車が往来する際学童・生徒が危険な状態となっている。

○課題

1. 鹿島港は整備が進み、国際物流港としての発展が期待されているが、物流機能を発揮させるための道路体系が未整備な状態である。港湾振興の鍵を握る物流を円滑にするためにも、東関東自動車道につながる物流道路等の整備が必要であると考えている。

2. 施設の老朽化に対して維持補修予算の確保が追いつかない。また県道や法定外道路の市への移管・委譲等により市が管理する施設の絶対数が増加するなど、道路の維持補修に対する市の負担が逼迫しつつある。このため維持補修に対する財政的支援策(新たな補助制度の創設など)が必要と考えている。

3. 安心・安全な道路環境を確保するためにも無歩道区間の解消など早急な交通安全対策が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー2 地域の目指すべき将来像

様式③

茨城県鹿嶋市

○鹿嶋市の将来像

「誰でも安全・快適に移動できる交通網の確立」

- ・東京や水戸市等広域的な連携を図る広域幹線道路の整備を図る
- ・周辺市町村や鹿島臨海工業地帯を連携する地域幹線道路の整備を図る
- ・広域・地域幹線道路に連携し、市内の各地区を結ぶ市街地幹線道路の整備を図る
- ・北浦湖岸や公園を巡る遊歩道など歩行者・自転車道路等の整備を図る
- ・歩道や案内板、休憩所等の設置など、安心して楽しく買い物や散歩が出来るみちづくりを進める
- ・幹線道路の歩道や生活道路は、歩車道の段差解消や視線誘導ブロックの設置など福祉的視点に立って整備改修に努める

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

茨城県鹿嶋市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・特徴を持ったわかりやすいみちづくり	・愛着が持て、待ち合わせや案内等生活の中で道をもっと活用できる。 ・多くの人が集散するカシマサッカースタジアム周辺での試合への期待感を盛り上げる演出の効果がある。 ・北浦湖岸線は、静かな日本的イメージを、鹿島灘沿いはリゾート的なイメージを醸し出し、地域の特徴を活かした道づくりが期待出来る。	